




論文審査の結果の要旨および担当者	
学位申請者	Wint Shwe Yee Phyo
論文担当者	主査 小川亨一郎 
	副査 中込隆之 
	副査 小山英則 
学位論文名	Characteristics of calcification and their association with carotid plaque vulnerability (頰動脈プラークにおける石灰化の形態と脆弱性の関係)
論文審査の結果の要旨	
<p>頰動脈プラークの脆弱性を診断することは、虚血性脳卒中のリスク評価において重要である。本研究の目的は、頰動脈 CT におけるプラークの石灰化に注目し、脆弱性との関連性を評価することである。</p> <p>頰動脈血行再建術前に CT と MRI プラークイメージングを受けた患者を連続的に評価した。石灰化所見の特徴により 4 群に分類し、さらに二重層徴候 (Double Layer Sign: DLS) の有無によって検討した。プラークの脆弱性を評価するためにプラークの信号強度比 (signal intensity ratio: SIR) を MRI で測定し、CT 上の石灰化分類と SIR を比較した。</p> <p>132 例中、DLS 陽性群 50 例 (62.5%)、DLS 陰性群 16 例 (30.8%) に脆弱性を認めた (SIR>1.47, p<0.01)。石灰化分類については観察者間の一致が観察された (κ 0.79, p<0.01)。多変量解析により、DLS (OR 3.03; 95% CI, 1.35-6.8; p<0.01) と男性 (OR 3.15; 95% CI, 1.02-9.68; p=0.04) が脆弱プラークの独立した予測因子であることが示された。</p> <p>頰動脈 CT における石灰化分類と DLS は、脆弱プラークの検出において有用なリスク階層化ツールであることが示されたことから、学位授与に値すると判断した。</p>	